

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会
書き損じはがきキャンペーンのながれ

1 回収

みなさまから書き損じはがきをご寄付いただきます。



2 整理

(公財)名古屋国際センターの国際協力ボランティアがはがきを仕分けします。

3 交換

郵便局で切手やレターパックに交換します。



4 販売

切手やレターパックを企業や協力団体に購入してもらい、資金化します。



5 支援

(公社)日本ユネスコ協会連盟に送金し現地の識字教育を支援します。

世界寺子屋運動の資金作りのため切手・レターパックは“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会でお求めください。



写真提供：(公社)日本ユネスコ協会連盟

2022. 10

“世界寺子屋運動”
ご協力ください！

受け付けています

- ・書き損じはがき(詳しくは裏面をご覧ください。)
- ・はがき、切手(未使用のものに限ります。)
- ・寄付金

寄付金の送付先

- ・郵便振り込み:00890-6-108490
- ・三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店【普通】2137777
- ※口座名はともに
「“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会 今泉祐治」

東海ろうきんNPO寄付システムでも

毎月100円から口座振替で募金いただけます。
お申込み、システムの制度に関するお問い合わせは
東海ろうきん <https://tokai.rokin.or.jp/>

貸し出しています

- ・書き損じはがき回収箱
- ・はがきちゃん着ぐるみ
- ・展示パネルなど



キャンペーン
マスコットキャラクター
「はがきちゃん」



回収箱

書き損じはがき回収箱は、
名古屋国際センターのほか
郵便局、図書館、区役所などに
設置しています。

書き損じはがきキャンペーンに関するお問い合わせは

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会事務局

〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

(公財)名古屋国際センター内

TEL : 052-581-5691 FAX : 052-581-5629

E-mail : koryu@nic-nagoya.or.jp



“世界寺子屋運動”
書き損じはがきキャンペーン

貧困、紛争、女の子だから・・・
世界の成人のおよそ8人に1人は
読み書きができません。



将来の夢は、
お医者さんになって
みんなの病気を
治すことです。

1枚のはがきが、
未来
を変える

書き損じはがき

12枚で

1人が1か月間
寺子屋で学べます

※カンボジアの場合
(2024・12)

チェン・ラシンさん
(カンボジア・11歳)

©NFUJ

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会



“世界寺子屋運動”とは・・・

“世界寺子屋運動”は、国際識字年（1990年）をきっかけに（公社）日本ユネスコ協会連盟によって始められた運動です。書き損じはがきを集めて、世界の読み書き・計算ができない人々への「学びの場＝寺子屋」づくりをしています。

“世界寺子屋運動”では
現地の人々の自立につながる、
彼らのニーズを大切にした支援活動を行っています。

「目に見える支援」



カンボジア・スニョール寺子屋で学ぶ子どもたち
(2024.11.27 スタディツアー訪問時撮影)

寺子屋の建設



教材の提供

「目に見えない支援」



教師の育成・授業の運営

収入向上プログラム



カンボジア・チョンクニア寺子屋の様子
(2024.11.27 スタディツアー訪問時撮影)

生活向上のための職業訓練

学校に通えないの子ども約2億5000万人
6歳～17歳の子ども

読み書きのできない大人約7億5,400万人

(公社)日本ユネスコ協会連盟HPより (2024.12)



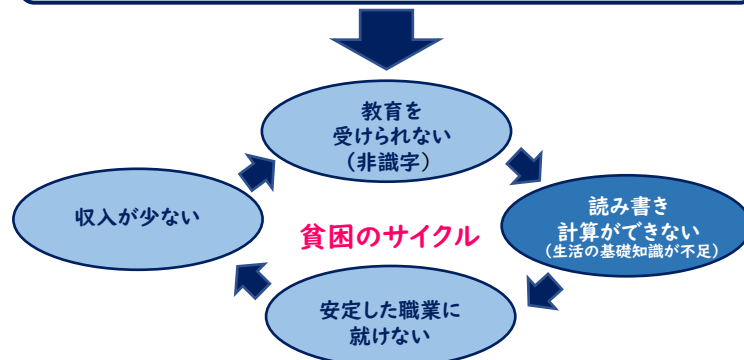
寺子屋で文字を学んだソバルさん。
今では寺子屋の幼稚園の先生・図書館スタッフ
運営委員です。

世界には戦争や貧困、女性であるという理由だけで、教育を受けられない人がいます。国際社会は、よりよい地球の未来を創るために「すべての人に教育をEducation for All」という目標を掲げ、特に初等教育の完全普及と女性の識字率向上を目指しています。

「29歳まで読み書きができませんでした、
寺子屋での学びで、人生が大きく変わりました。」

学べない理由。学べない事情

近くに学校がない・貧しさ・紛争や戦争
農作業の手伝い・女の子に教育は不要という考え など



このような負の連鎖には「読み書き・計算ができない」ということに大きな原因があると考えられています。この悪循環を断ち切るひとつの方法が「教育」なのです。

書き損じはがきとは・・・

こんなはがきが役に立ちます！

住所を
書き間違えた・・・

額面が
古くなっちゃった・・・



汚れちゃった・・・
古くなっちゃった・・・

余っちゃった・・・

国際協力のチャンスです！ ※ポストに入れてないはがきに限りません

みなさまに支えられて

書き損じはがきキャンペーンは、多くの市民のみなさまによって支えられています。はがきの寄付者として、ボランティアとして、あるいは切手の購入者として、キャンペーンにご協力いただくことで、私たちの支援活動を継続することができます。

今後とも“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会をご支援くださいますようお願いいたします。

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会 since 1990

これまでの
実績

- ・1990年に、はがき1枚から誰でもできる国際協力として、書き損じはがきキャンペーンを開始しました。
- ・2024年3月末には、書き損じはがき回収累計約500万枚を達成しました！
- ・これまでにインド、カンボジア、ネパール、アフガニスタン、中国などの11か国22団体へ、総額およそ1億8,444万円の支援金を送りました。
(2024年12月現在、(公社)日本ユネスコ協会連盟“世界寺子屋運動”への継続的な支援総額が、全国1位)